

## 【資料 2】

令和 7 年度

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況

## (1) 趣旨・目的

本町では、2015（平成 27）年 11 月に「美里町人口ビジョン」及び「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生への取組を進めてきましたが、地方創生の充実・強化に向けて、切れ目ない取組を進めることが必要であることから、これまでに根付いた地方創生の意識や取組を継続するためにも、第 1 期総合戦略を検証し、基本目標の設定に当たっては、第 1 期総合戦略で設定した 4 つの基本目標の枠組みを維持しつつ、新しい時代の流れに応じた考え方を取り込み、第 2 期総合戦略を策定しました。

総合戦略は、計画策定（Plan）、推進（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）の過程においても、町全体に関わる体制を構築し、実効性を確保する必要があります。

そこで、町内各界各層とともに推進・検証していくために、「美里町まちづくり審議会」を設置し、総合戦略の数値目標及び業績評価指数（KPI）の進捗状況を客観的に把握・検証することで、総合戦略の各政策の見直しにつなげていきます。また、二次代表制の両輪となる町議会においても、効果検証において参画して頂くものとします。

## (2) 施策の体系

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「しごと」が「ひと」を呼び込み、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を生み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すために、国と県の方針を踏まえて、次の 4 つの目標の下に 27 の施策を展開していきます。

## 基本目標 1 基幹産業を再生するとともに、安心して働けるようにする

### 1. 農林業の再生

- (1) 担い手の育成と経営基盤づくり
- (2) 魅力ある特産品づくり

### 2. 観光を軸とした産業と商工業の育成支援

- (1) 地域資源を活用した観光振興と滞在型観光の推進
- (2) 商工業の育成支援
- (3) 多種多様な企業の誘致推進

### 3. 産業連携の促進

- (1) 地域資源を活用した産業連携の促進

## 基本目標 2 美里町へのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる

### 1. 交流人口、関係人口の拡大

- (1) 観光による交流促進
- (2) ふるさと納税の活用

### 2. 空き家の利活用

- (1) 空き家バンクの充実
- (2) 空き家対策への取組強化

### 3. 移住定住の促進

- (1) 移住者、移住希望者へのサポート強化
- (2) 魅力の情報発信強化
- (3) 住環境の提供
- (4) 3世代定住の奨励

### 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 1. 結婚・妊娠・出産への支援

- (1) 出会いの場の機会創出
- (2) 不妊治療、早産予防の支援
- (3) 出生祝い金の支給

#### 2. 子育て環境の充実

- (1) 子育て家庭への経済的支援の充実
- (2) 保育サービスの充実

#### 3. 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

- (1) 幼・保・小・中の連携による一体的な教育
- (2) 授業改善と学力の向上
- (3) 特色ある学校づくりと地域との連携

### 基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる

#### 1. 安心して暮らすことができる環境の構築

- (1) 自主防災の強化
- (2) 地域コミュニティの構築

#### 2. 暮らしやすい魅力的なまちづくり

- (1) 利用しやすい公共交通サービスの提供
- (2) 広域連携の推進
- (3) 外部人材の活用

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況（令和6年度分）

基本目標	施策区分	施策内容	指標	KPI 基準値 (R1)	単位	KPI 目標値 (R7)	単位	KPI実績 (R6年度)	単位	進捗率 達成率 (%)	進捗・達成状況	進捗・達成状況 及びその評価・意見等	今後の実施方針・予定
基本 目標 1	基幹産業を再生するとともに、安心して働けるようにする	1. 農 林業の 再生	(1) 担い 手の育成と 経営基盤づ くり	認定新規就農者 数（累計）	4人	6人	6人	100.0%	A 目標達成	既に目標を達成している状況 （大幅な増加にはなっていないが、目標 値をクリアしている。）	引き続き、認定新規就農者の支援を継続 しながら、新たな認定に向けた取組を実 施する。		
				認定農業者数 （累計）	79経営体	79経営体	68経営体	86.1%	C 達成には 困難な状況	認定新規就農者及び認定農業者の認定は それぞれ年間1人程度で推移しているも の、高齢化が急速に進み、離農等を理 由に認定農業者の更新をされない農業者 があり目標値には届いていない状況であ る。	農業者の高齢化により、認定農業者から の脱退が加速化している。新規認定就農 者と同様に、新たな担い手の確保に向け た取組を実施する。		
			(2) 魅力 ある特産品 づくり	新規特産品の数 （累計）	1品	2品	2品	100.0%	A 目標達成	既に目標を達成している状況 （「R2 島らっきょう」・「R3 ショ ウガ」を本町の特産物として指定し た。）	現在、指定されている特産物について引 き続き支援することを基本とする。		
				6次産業化した 件数（累計）	1件	2件	1件	50.0%	C 達成には 困難な状況	成果が出ていない状況 （R3.5月で「そば」の取組が終了し た。）	農業者及び農業生産部会が生産された農 産物を加工品として販売できるよう、基 盤づくりを実施する。また、加工品向け 農産物の掘起し及び作付けを検討・協議 する。		
		2. 観 光を軸 とした 産業と 商工業 の育成 支援	(2) 商工 業の育成支 援	有害獣による被 害額	956万円/年	700万円/年	387万円/年	222.3%	A 目標達成	R6年度は目標を達成している状況 （防護柵・罾などに対し、支援を実施し ているため、被害額が減少している。）	引き続き、防護柵及び罾（箱罾・くくり 罾）などの支援を実施し被害の拡大防止 に努める。		
				空き店舗等の再 利用件数（累 計）	3件	10件	9件	85.7%	B 概ね達成	創業希望者数に大幅な増加は無かったも の、空き家を活用した新規創業が数件 あり、ここ数年は創業事業者が続いてい る。	空き家バンクの周知徹底や空き店舗を再 利用する際の整備補助金、税の免除等、 町内外問わず創業に向けた創業支援事業 補助金を創設し新規事業者のバックアッ プを行う。		

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況（令和6年度分）

基本目標		施策区分	施策内容	指標	KPI 基準値 (R1)	単位	KPI 目標値 (R7)	単位	KPI実績 (R6年度)	単位	進捗率 達成率 (%)	進捗・達成状況	進捗・達成状況 及びその評価・意見等	今後の実施方針・予定
基本 目標 1	基幹産業を再生するとともに、安心して働けるようにする	2. 観光を軸とした産業と商工業の育成支援	(2) 商工業の育成支援	創業希望相談件数（累計）	37	人	60	人	62	人	108.7%	A 目標達成	創業支援補助金を創設したこともあり、創業希望者の相談者がいる状況が続いている。	くまビジ（事業者の役に立つ情報（補助金や経営のヒントなど）を発信するコンテンツ）を導入し事業者支援を行っている。美里会議を開催し事業者の情報交換の場の提供も行った。
			(3) 多種多様な企業の誘致推進	新規誘致企業数（累計）	1	件	3	件	1	件	0.0%	C 達成には困難な状況	企業等の誘致を促進するために、企業立地促進条例を制定。また、用地情報をHP等を活用して広く情報発信しているものの、誘致までは至っていない。	今後も、企業誘致に向けた環境の整備等に取り組むと共に、優遇制度の見直しや新設等により、多様な業種の企業誘致に取り組む。
		3. 産業連携の促進	(1) 地域資源を活用した産業連携の促進	特産品の改良・開発支援数（累計）	6	品	16	品	16	品	100.0%	B 概ね達成	各種イベント出店に向けて、包装の見直しを行い、新商品の開発も美里まちづくり公社を中心にふるさと納税の返礼品の開発が進んだ。	商工会、まちづくり公社と連携し、マンネリ化しないためにも、商品の改良・開発の継続を支援していく。
基本 目標 2	美里町へのつながりを築く、新しいひとの流れをつくる	1. 交流人口、関係人口の拡大	(1) 観光による交流促進	観光入込客数	333,783	人/年	367,000	人/年	285,011	人/年	-146.8%	C 達成には困難な状況	昨年度とほぼ同数の状況であり、目標との差も大きかった。	今後も観光施設などと連携を図り、積極的に誘客に向けたPR活動やイベントの開催に取り組む。
				観光公式ホームページアクセス数	73,552	回/年	230,000	回/年	49,486	回/年	-15.4%	C 達成には困難な状況	みさとりっぷの閲覧数は増加していないが、InstagramやLINE等のSNSを活用しながら観光情報の魅力発信に努めている。新たな手段で周知を図った。	みさとりっぷと併せて、各種SNSを活用しながら観光情報の魅力発信に努めている。
				体験型観光への参加者数	0	人/年	50	人/年	70	人/年	140.0%	A 目標達成	公社が行う「まるごと美里」の参加者を計上した。（定員10人×10回実施）	美里まちづくり公社など地域事業者や住民が主体となる取り組みとして定着するよう支援・協力していく。
		(2) ふるさと納税の活用	ふるさと納税の寄附件数	180	件/年	3,000	件/年	3,403	件/年	114.3%	B 概ね達成	地域の返礼品の掘り起こし及び磨き上げをおこなうとともに、より魅力的なポータルサイト構築を図った結果、寄付額を伸ばすことができた。	既存の返礼品魅力向上を図ることに加え、品目数の充実を行うことができるよう、町内事業者の協力を得て新規返礼品の開拓を進め、品揃えの強化に取り組む。	
		2. 空き家の利活用	(1) 空き家バンクの充実	空き家バンクの登録件数（累計）	29	件	65	件	67	件	105.6%	A 目標達成	町内地図を基に、町内全域の空き家調査を行いながら町ホームページ等において、空き家バンク登録に関する周知を行った。	今後も継続して、空き家バンクの周知活動や潜在する空き家の掘り起こし等を実施し、登録を推進する。

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況（令和6年度分）

基本目標	施策区分	施策内容	指標	KPI 基準値 (R1)	単位	KPI 目標値 (R7)	単位	KPI実績 (R6年度)	単位	進捗率 達成率 (%)	進捗・達成状況	進捗・達成状況 及びその評価・意見等	今後の実施方針・予定
基本 目標 2	2. 空き家の利活用	(1) 空き家バンクの充実	空き家バンクによる契約成立件数（累計）	11	件	30	件	32	件	110.5%	A 目標達成	移住相談会への参加などを通じて、空き家バンクの利用を呼び掛けており、成約数が累計32件。目標値を達成することができた。	物件の登録数が成約数にも影響を与えるため、新たな物件の掘り起こしを行い、移住定住につなげていく。
		(2) 空き家対策への取組強化	空き家の利活用件数（累計）	0	件	2	件	1	件	50.0%	B 概ね達成	まちづくり公社が二俣橋付近の空き家に関係人口創出施設として活用しており情報発信の場となっている。	今後もまちづくり公社や地域おこし協力隊員の協力のもと空き家の利活用を図っていく。空き家を活用した「おためし住宅」の利用推進を図る。
	3. 移住定住の促進	(1) 移住者、移住希望者へのサポート強化	移住者の経済的負担軽減支援件数（累計）	10	件	32	件	32	件	100.0%	A 目標達成	補助対象者に支援を行った結果、目標値を達成することができた。	今後も移住者への負担軽減を行い、移住件数の増加を図っていく。
		(2) 魅力の情報発信強化	移住ホームページのアクセス数	5,363	回/年	—	回/年	—	回/年	—	B 概ね達成	移住ホームページを費用対効果の面から見直したことにより、廃止し、町ホームページ内の1ページとして運用しており、アクセス数を把握することは困難となった。	今後については、町公式ホームページにて移住用のページを新たに作成し一体的に登録促進・啓発活動を行っていく。
		(3) 住環境の提供	住宅の新規整備戸数（累計）	0	戸	27	戸	27	戸	100.0%	A 目標達成	町有住宅の入居要件を緩和し、若年層の町外流出を防ぐとともに町外からの入居を推進する目的として、令和2年度に熊本地震の仮設住宅を現地利活用した賃貸住宅を新規整備した。	今後は、長寿化計画に基づき既存住宅の改修整備を実施するとともに、情報発信を行い、若者世代の移住・定住の促進を図る。
		(4) 3世代定住の奨励	定住促進団地の新規入居世帯数（累計）	0	世帯	4	世帯	4	世帯	100.0%	A 目標達成	くすのき平団地においては、譲渡申請を3件受理し、3区画譲渡契約まで完了した。	くすのき平団地については、すべての区画が契約完了となった。今後は新たな定住促進団地の整備を検討していきたい。
	基本 目標 3	1. 結婚・妊娠・出産への支援	(1) 出会いの場の機会創出	13	人	113	人	49	人	36.0%	C 達成には困難な状況	婚活イベント等に資する取組への補助制度を設け、令和6年度においては、1件の支援を行った。町単独のイベントだと集客に限界があるため、今後の開催方法を検討していく必要がある。	町単独でのイベント開催では集客が難しいため、令和7年度より連携中枢都市圏で行われている婚活事業に参画し、婚活等をおこなうこととなった。その際、町の参加者数を把握することが難しいため目標値を変更する。

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況（令和6年度分）

基本目標	施策区分	施策内容	指標	KPI 基準値 (R1)	単位	KPI 目標値 (R7)	単位	KPI実績 (R6年度)	単位	進捗率 達成率 (%)	進捗・達成状況	進捗・達成状況 及びその評価・意見等	今後の実施方針・予定	
基本 目標 3	結婚・出産・子育ての 希望をかなえる	1. 結 婚・妊 娠・出 産への 支援	(2) 不妊 治療、早産 予防の支援	子どもの出生数	32	人/年	30	人/年	24	人/年	80.0%	B 概ね達成	・不妊治療の経済的負担の軽減を目的とした不妊治療の費用助成を行った。（一般1件/特定5件） ・特定不妊治療については、R4年度で県の助成が終了したため、R5年度に要綱を改正し、治療1回につき30万を限度とする助成を行うこととした。 ・出生数はやや減少しているが、不妊治療の申請件数は増加傾向にある。	・不妊治療に関する助成の周知。 ・妊婦歯科健診が早産予防につながることにについて妊婦さんへの認識を高める。 ・妊娠・出産・子育て期の一貫した伴走型相談支援と経済的支援を実施していく（妊婦支援給付金、産後ケア事業等）。
			(3) 出生 祝い金の支 給	出生祝い金の支給件数	17	件/年	30	件/年	22	件/年	73.3%	B 概ね達成	令和3年度から出生祝い金の対象が拡大し、第1子から支給対象となったため増加傾向となっていたが、R6年度は大幅に減少した。	今後も出生児が増えるよう継続して取り組んでいく。
		2. 子 育て環 境の充 実	(2) 保育 サービスの 充実	待機児童数	0	人/年	0	人/年	0	人/年	100.0%	A 目標達成	関係機関と連携が取れており、待機児童はいない状況。	今後も待機児童が出ないように、出生数や転入状況等を注視し、関係機関と連携した取り組みを行う。
	延長保育実施施設数			5	施設/年	5	施設/年	5	施設/年	100.0%	A 目標達成	令和6年度においても町内全ての保育所・認定こども園において延長保育を実施することができた。これからも保護者のニーズに合わせてサービスを提供していきたい。	現在、町内全ての保育所・認定こども園で延長保育を実施しているが、園によっては、利用が少ない園もある。保護者の状況によっては、利用せざるを得ない場合があると考えため、延長保育を実施できる体制を継続して確保していく。	
	放課後児童健全 育成事業実施施設数（累計）			2	施設	3	施設	2	施設	66.7%	C 達成には 困難な状況	励徳小学校校区の児童クラブについては、児童クラブの設置主体となりうる保育所が地域内に所在していないため、受け入れ先がどこになるかという課題がある。また、設置する際には、場所や人員といった環境面の整備も必要となるため、現在対象者を砥用小学校区域に輸送して対応している。	励徳小学校校区においては、生徒数の減少という観点もあり、学童設置について慎重に検討するとともに、必要なサービスの提供を実施していきたい。	

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況（令和6年度分）

基本目標		施策区分	施策内容	指標	KPI 基準値 (R1)	単位	KPI 目標値 (R7)	単位	KPI実績 (R6年度)	単位	進捗率 達成率 (%)	進捗・達成状況	進捗・達成状況 及びその評価・意見等	今後の実施方針・予定
基本目標3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3. 確かな学力・豊かな心・健康な体の育成	(2) 授業改善と学力の向上	学習支援員1人当たりの児童・生徒数	52	人	40	人	37	人	125.0%	A 目標達成	学習支援員12人は増減しておらず、児童生徒数が減少していることで結果的に目標値を達成している。	「誰一人取り残さない学びの保障」を実現するため、現状の学習支援員数を確保していくとともに、支援内容を充実させる。
			(3) 特色ある学校づくりと地域との連携	全国版コミュニティ・スクール等への取組学校数（累計）	0	校	5	校	5	校	100.0%	A 目標達成	総合教育アドバイザーを中心に町内すべての学校において、移行は完了している。	コミュニティスクールなどの活動により、地域を巻き込んだ教育環境の構築を図る。
基本目標4	ひとが集う、安心して暮らすことができる	1. 安心して暮らすことができる環境の構築	(1) 自主防災の強化	自主防災組織数（累計）	59	組織	86	組織	63	組織	73.0%	B 概ね達成	各地区の代表者を集めた研修会などを開催し、共助の啓発を行ったが、過疎や高齢化により組織を設立することが困難な地域もみられる。	共助の啓発を継続して行いながら、地区割等の検討を行い、将来的に維持可能な組織の設立を推進することで設立数の増加を図っていききたい。また、地区防災計画やマイタイムラインの作成に係る説明会を開催し、防災意識の向上を図る。
			(2) 地域コミュニティの強化	通いの場立ち上げ支援数（累計）	24	か所	33	か所	32	か所	88.9%	B 概ね達成	令和6年度は新規の立上げには至っていないが、2地区に立上げ説明会を行った。そのうち1地区が令和7年4月から立上がるようになった。立上がらない要因としては、団体の代表となられるような方が少なくなっていること。また、元気な高齢者は自宅での仕事（勤めや農業）等を続けられており、活動への参加につながっていないことがあげられる。	通いの場活動によって得られる効果を分析する。また、その効果について住民へわかりやすいように説明・周知を行い、通いの場の重要性を伝えていく。 なお、R7年度の目標値については、令和6年度に見直しを行った第9期介護保険事業計画から引用し、より実情に合わせた目標値とする。
			(2) 地域コミュニティの強化	通いの場サポーター養成人数（累計）	43	人	183	人	50	人	5.0%	C 達成には困難な状況	R5年度までは身体サポーター及び脳サポーターと2種類のサポーター養成を行っていた。どちらも、新規の受講者は少なく、再受講の方がほとんどであった。新規の受講者が伸びない要因については、通いの場の新規立上がが少なくなっている要因と繋がりがあると考えている。	R6年度からは2種類のサポーターを1本化し、介護予防サポーターとして養成講座を実施する。また、現在活動されているサポーターについては、復習することができるサポーター養成講座を実施する。養成講座受講の周知については、介護保険証交付時に直接、案内を行う。

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況（令和6年度分）

基本目標	施策区分	施策内容	指標	KPI 基準値 (R1)	単位	KPI 目標値 (R7)	単位	KPI実績 (R6年度)	単位	進捗率 達成率 (%)	進捗・達成状況	進捗・達成状況 及びその評価・意見等	今後の実施方針・予定
基本目標 4	2. 暮らしやすい魅力的なまちづくり	(1) 利用しやすい公共交通サービスの提供	町内完結公共交通機関延べ利用者数	3,507	人/年	4,382	人/年	1,877	人/年	-186.3%	C 達成には困難な状況	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、町内を走る路線バス等の利用が落ち込むとともに、町内完結交通についても利用が落ち込み、目標値を大きく下回っている。	令和7年に開始した実証運行の結果を踏まえ、町内公共交通の刷新を含めた検討を進める。乗り方教室、既存の公共交通の利用促進に向けた施策を実施し、利用促進を図る。
		(2) 広域連携の推進	広域市町村参加の移住相談会の参加回数	2	回/年	4	回/年	6	回/年	200.0%	A 目標達成	対面とWEBで開催される相談会に参加することで、目標を達成することができた。	今後は、WEBでの相談会も増えているため、参加を積極的に行いたい。
		(3) 外部人材の活用	地域おこし協力隊の委嘱人数（累計）	8	人	15	人	16	人	114.3%	A 目標達成	令和6年度までに延べ16人を委嘱して、地域の活性化や、魅力的なまちづくりに取り組んでいる。	今後も地域おこし協力隊の重点業務を洗い出し、積極的に制度を活用したい。

令和6年度		基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	計	率
A 目標達成	・目標（目的）を順調に達成した	4	6	4	2	16	47.1%
B 概ね達成	・目標（目的）達成に向け、取り組み方法の見直しや改善が求められる	2	3	2	2	9	26.5%
C 達成には困難な状況	・目標達成は困難な状況のため、指標や手段の再検討が必要	3	2	2	2	9	26.5%
D 着手したが成果が出てない	・実績が上がっていない状況のため、廃止を含めた抜本的な再検討が必要	0	0	0	0	0	0%
E 未着手	・事業及び取組の未着手	0	0	0	0	0	0%
	計	9	11	8	6	34	100%